

平成
29年

新年のごあいさつ



長久手市長

加田一孝

明けましておめでとうございます。

健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

いよいよ今年から、市の長期・総合的な方向を定める次期総合計画の策定を本格的に始めます。総合計画に限らず、市の計画は、市民一人ひとりに関係することですので、みなさんと一緒に作っていきたくて考えています。

これからの超高齢・人口減少社会では、自分達の暮らしをどうしていくかを小学校区くらいの単位で、一人ひとりが「我が事」として考えていくことが求められます。同じ小学校区に住んでいても、その多くは、それぞれが多様な価値観を持つ、知らない人同士です。そうした市民同士で、自分達が暮らす地域をどうしたいか、みんなで話し合い、互いに歩み寄ることは、大変わずらわしいことで、時間がかかります。

しかし、時間をかけることで、顔の見える関係ができ、意見を交わす機会が増え、多くの人が納得できるだけの議論を重ねることができそうです。わずらわしさを積み重ねることで、少しずつでも、地域のことを「我が事」として考える人が増えていけば、将来にわたって長久手市は住みやすいまちであり続けることができると思います。

まちのことを「我が事」として一緒に取り組んでまいりましょう。

年頭にあたり、みなさまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、新年のあいさつといたします。



長久手市議会議員

伊藤祐司

市民の皆さまにおかれましては、希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

年末にはイオンモール長久手がオープンし、長久手古戦場駅前に新しいにぎわいが生まれました。今年は公園西駅にIKEAがオープンし、さらなる活性化が進むことと思います。しかしながら、交通渋滞など日常生活への支障が懸念されるため、注視していきたくて考えています。

また、子育て世代を中心に人口流入が続く、一層の子育て環境の充実が求められています。子ども達が長久手で学び成長することで、住み続けたいと思えるまちづくりを進める必要があります。

次世代を担う子ども達はもとより、すべての市民の皆さまが豊かさや幸せをより実感できる生活の実現に向けて、市議会では皆さまの声をまちづくりに広く反映できるよう、議員が力を合わせ「チーム議会」として最善の努力をしまっている所存でございます。さらに、市民の皆さまに議会活動をより身近に感じていただけるよう意見交換ができる機会を積極的に設けていきたくて考えております。皆さまも是非議場へもお越しいただき、議員の生の声をお聞きください。

どうか今年も市議会へのご理解をいただき、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

年の初めにあたり、みなさまのご健康とご多幸を心からお祈り申し上げ、新年のあいさつといたします。



表紙の写真もう一枚



色金保育園で毎年恒例の「もちつき」が行われました。年長の子どもたちが、一人ひとり杵を持って、もちつきを体験。重たい杵を持ちながら、周りの子たちの「よいしょ! よいしょ!」の掛け声に合わせて、一生懸命におもちをついていました。

